

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス コモンチャイルドケア			
○保護者評価実施期間	R8年 1月 21日 ~ R8年 2月 7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	R8年 1月 21日 ~ R8年 2月 7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 9日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援級よりは多く、通常級よりは少ない中規模集団で、療育を行なうことで、コミュニケーションの力向上を図っている。体操、パソコン、英語などのスキルアップのためのプログラムや、SST、クッキングなどを通じて、様々な経験をすることができるようプログラムを設定している。	集団での活動をメインに行なっているので、利用者同士のコミュニケーションがよりい密になるようにしている。また、集団活動に参加が難しい利用者に対しては、レベルに合わせてプログラムの難易度を変えて対応している。	保護者参加型のプログラムを増やし、保護者との情報共有を図っている。そのため、療育活動を行う際にも、家庭の様子なども考慮し、集団での支援活動を行うことができる。
2	宿題や課題に取り組む習慣をつけることができる。宿題や課題に取り組む時間を平日や休日、学校休業日に間わらずとついているため、利用者に習慣をつけることができている。	利用者が集中して取り組むができるように、机の配置や衝立の設置などを実施している。また、学校の学習ベースに合わせて、職員が学習サポートを行なっている。	保護者から宿題を終わらせてから、帰宅してほしいとの希望が増えているため、引き続き学習支援を行うとともに、学校とも学習について情報共有を行いたい。
3	茶話会の定期開催を実施し、保護者との連携をより強固にしている。	茶話会で、ご家庭の様子や保護者の対応などを共有し、療育活動に活用している。また、保護者同士のつながりも作れるよう職員が間に入り、茶話会を進行している。	保護者の参加しやすい時間帯や曜日を集計し、次回開催の日時を決める。また、アンケート項目を随時変更し、保護者のニーズを把握する事に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	茶話会の開催にあたって、多くの保護者に参加してもらうことができていない。	メールやおたよりで、実施の連絡を入れているが、内容がわかりにくく参加しづらさに繋がっている。保護者の仕事の状況にいよって日程が空かないことが多い。	おたよりに茶話会の様子の詳細を掲載する。また、メールでも開催内容について、フィードバックを送信する。アンケート用紙を用いて、次回開催時の改善を行う。
2	療育プログラムが1年生から4年生を対象としているものが多く、高学年から高校生とレベルがあってないことがある。	利用者の大半が1年生から4年生であり、活動の中心となることが多いと考えられる。	療育プログラムを設定する際に、それぞれのレベルに合わせやすいものを設定する。
3	放課後児童クラブや地域の他の子どもとの交流をすることができていない。	放課後児童クラブや地域の子どもと交流することができるイベントや行事に参加することができなかった。	土曜日など、地域の行事ごとやイベントのある日に積極的に参加し、交流をする機会を設ける。プログラムで、公園を利用した時には、地域の方とも交流を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス コモンチャイルドケア
------	-----------------------

公表日 年月日

利用児童数 年2月日 36名

回収数 20名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	1	2階へあがる階段が少々怖いなと感じています。	階段に滑り止めを設置し、事故防止に努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1	0	1	子どもの気持ちを尊重して対応してくださっています。	引き続き児童の特性に応じた対応を行っていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0	いつも十分に聞き取りをした上で作成してくださいます。	引き続き保護者のニーズと子供の特性を考慮して個別支援計画を作成する。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	0	成長に応じて細かく作っていただいています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1	0	0	個々に合わせて対応してくださっています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1			季節の行事や遠出、クッキングなどがあり、子どもも楽しみにしております。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	1	13	小学校、放課後等児童クラブに通い、他の子供と交流、活動しているので必要ない。	放課後児童クラブや地域の子供との交流についても、イベントなどを通して交流する機会を作る。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1	0	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	20	0	0	0	帰宅時に今日の様子を教えてください、よく目を配って頂いています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	3	活動の様子や家の困りごとなど相談しやすく助かっています。 更新の際にはしっかり話を聞いてアドバイスして頂いています。	必要な場合は、電話連絡またはメールを用いて連絡する。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0	活動の様子や家の困りごとなど相談しやすく助かっています。 親の見つけられない成長や頑張りをたくさん教えてくださいます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	1	0	1	親の交流の場は設けて頂いていますが、成長や個性も様々なので、なかなか本音では話しづらいかなと感じます。	本音で話すことができるよう少人数等、配慮をして実施する。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0	LINEなので連絡しやすいです。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	0	0	コモン通信の似顔絵がいいなと思いました。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	6	事業所で流行している感染症などがあれば、教えてくだされば嬉しいです。	事故防止、感染防止などより多くの保護者に周知していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	8		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	家と学校以外で安心できる居場所になっていると思います。 安心して通うことができている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	0	0	0	仲の良いお友達もいるようで学校以外のつながりができていること心強く思います。 来月のカレンダーをもらうとどの日に行くか楽しそうに決めています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	職員の皆様にはよくして頂き、いつも本当に感謝しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス コモンチャイルドケア	公表日	年 月 日		
	チェック項目	○	×	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	下校時刻など被ってしまうと宿題のスペースが狭い場合があるので、机の向きを変えたり、場所を移動したりして対応している。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5	利用人数が多いと、子供たちから目が離れる場合があるためマンツーマンにならないよう工夫している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	児童の来所前に職員同士で前日の振り返り・情報共有を行い児童への対応を統一している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		気になったところは、すぐに伝え改善できるようにしている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		季節の行事を取り入れたり、工作中に取り入れたりしている。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・翌日に振り返りノートを作成し、共有している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0		
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		担当者会議などを通して、学校との情報共有をすることができている。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		該当児童がいないため、前例はないが支援内容を提供することは可能である。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		スーパーパーバイズや助言を受けることができるなら受けたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	6		
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		当事業所の相談支援専門員に帯同し、参加する場合がある。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		全員ではないが、数人はしている。 送迎時に保護者との情報共有の時間を大切にしている。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		外部の講師で協力していただき、勉強会などできれば良いと思う。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者参加型の茶話会を定期開催し、家庭での悩みなどを共有してもらい職員だけでなく保護者同士の意見交換を行うことができる場を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	年に一度、保護者・ご家族の参加できるイベントを用意し、保護者同士の交流、兄弟同士で楽しむことができるプログラムを用意している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月発行のおたより、日々の活動の様子を確認できるInstagram・リタリコブログを発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	絵カードを使うこと、また保護者への聞き取りを行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		地域住民を招待する機会を作っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	アセスメントをとる時に確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者に確認を行い、保護者の指示を受けて対応している。 おやつをアレルギー対応にしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	契約時に知らせている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2		